



藤川区の河川敷にある500mほどの遊歩道には、早咲きで知られる河津桜が100本ほど植えられ、見事な桜並木を創り上げています。

河津桜といえば伊豆が本場ですが、毎年2月初旬から3月初旬にかけてが見頃となる伊豆とは違い、藤川の河津桜は3月の中旬からが見頃です。

今年は暖冬の影響もあってか少し早めの開花となりました。

# 川辺を彩る早咲き桜

藤川の河津桜は、18年ほど前に藤川区の梶山組さんが土木関係の表彰を受けた記念に地区への寄付を申し出たことから、当時河川敷に憩いの場として整備されていた多目的広場「藤っこ広場」周辺に植樹をしようとしたことが始まりだそうです。

何を植えようかと区民の方々と話し合っていたところ、以前に河津町で仕事をしていた経験のある中村晴一さんが「河津桜なら早咲きできれいだ」と発案したことから、河津桜が植樹されることになりました。

苗木を植えた当初は河川敷ということもあり、凍ってしまうものや風で倒れてしまうものがあり育成が進

まなかったようですが、今では立派な桜並木ができあがり、美しい花を咲かせるようになりました。

現在では、シーズンに合わせて地元商工会が案内用ののぼり旗を用意するなど、区外の方々にも桜を楽しんでいただけるよう地区全体で盛り上げています。

植樹当時に区長を勤めていた秋元一夫さんは「育て始めた頃は世話が大変だったが、今では立派に自生してくれるようになった。これからも地区の憩いの場として残ってほしい。くれれば」と感慨深く話していました。